



20240219

校長の戯言 月 No.2 月

SEISHUKAN あ・ら・かると



鹿児島県立川薩清修館高等学校長 幸多優

■大馬越地区文化祭■

寒暖差の激しい2月。その日は朝から太陽の日差しが強く、春日和のような一日であった。本校のPTA会長が所属する大馬越地区の文化祭が開催されるということで招待された。併せて演奏の依頼もあり舞台に参加することとなった。日本の抒情歌メドレーを演奏し、PTA会長の息子さんと共演する機会もいただいた。息子さんの歌声はとても澄みきった美しい声で久しぶりの感動であった。6年前に閉校となった小学校の体育館が会場であり、体育館内には所狭しと展示物や客席が整然と並んでいた。展示物には昭和初期に使っていたであろう、蓄音機や計算機などの骨董品もみられた。住民の書道や生け花など制作物が素敵に展示されていた。生涯学習の大切さを垣間見ることができた。

舞台終演後には反省会もあり、参加した。この地区は約300世帯の住民がいるそうだが、ご高齢が多く運営には苦慮しているようだ。文化祭や地域行事の在り方で熱い議論を拝聴することができた。大先輩たちはこのようにして地域を支えているという貴重な場面に立ち会えたことに感謝である。

